

佐屋小学校老朽化対策基本計画 【概要版】

1. 背景・目的

愛西市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整えるため、取り巻く環境の変化等を踏まえつつ、将来を見通した学校統廃合等の具体的施策を示すことを目的として令和6年3月に「愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策基本計画」を策定しました。この計画の具体的施策として、佐屋小学校は老朽化対策を実施することとなりました。施設の老朽化状況やこれからの学校施設に必要な機能整理を行い、老朽化対策の基本的な方向性を示すため令和7年12月に「佐屋小学校老朽化対策基本構想」を取りまとめました。本基本計画はこの基本構想をもとに、必要諸室の整理や配置、平面計画等、設計を進めるうえで必要な基本条件を整理することを目的とします。

2. 建築コンセプト

学校施設として
みんなのウェルビーイングを大切に作る安心・安全な学校
地域の学校として
学校と地域の絆を深める、みんなが行きたくなる学校

| | |
|----|--|
| 学び | ゆとりあるスペースの確保と多様な教育的ニーズに対応した居場所づくり ・ICT教育に対応する教室の整備 ・十分な収納スペースの確保 ・様々な特性の子ども達に対応する柔軟性のある教室 ・不登校児童の支援やクールダウンスペース等、選択肢のある居場所づくり 等 |
| 生活 | 快適な室内環境と絆を育む交流空間づくり ・自然採光・通風の確保や木のぬくもりを感じる内装 ・空調設備の整備やトイレ・手洗いの充実、各学年の更衣室 ・学年で集まれるスペースや異学年交流を促す広い図書室 ・遊具の充実した広い校庭、校庭に出やすいまとまった昇降口 ・教職員のパフォーマンスを高める執務環境・リフレッシュ空間 等 |
| 共創 | 災害時の連携につながる地域と学校の接点づくり ・地域住民と交流が図れる多目的ホール ・保護者への引き渡しがスムーズに行える動線計画と待機スペース ・避難所利用するエリアを中心とした地域開放の計画 ・放課後や長期休暇中の子ども達の居場所づくり 等 |
| 安全 | 日常から災害時まで安心・安全に寄与する機能強化 ・老朽化対策と維持管理しやすい施設づくり ・防犯カメラやフェンスの設置等の防犯対策 ・だれでもトイレやエレベータ、スロープの整備等のバリアフリー化 ・地盤沈下や浸水など地域の特性にあった災害対策 等 |
| 環境 | 緑豊かな環境の継承と災害時の避難所機能に資する環境対策 ・維持管理しやすい植栽選定 ・太陽光発電等、災害時にも機能する省エネ設備の導入 等 |

3. 必要諸室・規模

| 部門 | 室名 | 室数 | 1室面積 | 地域開放 | |
|---------------------|------------|------------------|--------|------|--|
| クラスルーム | 普通教室 | 18室 | 72㎡ | | |
| | 少人数教室 | 各学年1室 | 36㎡ | | |
| | 更衣室 | 各学年1室 | 36㎡ | | |
| | 多目的スペース | 適宜 | 適宜 | | |
| | クールダウンスペース | 適宜 | 適宜 | | |
| | 特別支援学級 | 8室 | 36㎡ | | |
| | 特別支援教室 | 1室 | 72㎡ | | |
| | 校内教育支援センター | 1室 | 36㎡ | | |
| 特別教室 | 理科室・準備室 | 2室 | 144㎡ | | |
| | 音楽室・準備室 | 2室 | 144㎡ | ○ | |
| | 図工室・準備室 | 1室 | 144㎡ | (○) | |
| | 家庭科室・準備室 | 1室 | 144㎡ | ○ | |
| | 図書室・準備室 | 1室 | 180㎡ | (○) | |
| | 多目的室・準備室 | 1室 | 180㎡ | ○ | |
| 管理諸室 | 校長室・応接室 | 1室 | 48㎡ | | |
| | 職員室 | 1室 | 180㎡ | | |
| | 事務室 | 1室 | 36㎡ | | |
| | 印刷室 | 1室 | 36㎡ | | |
| | 給湯室 | 1室 | 18㎡ | | |
| | 放送室 | 1室 | 36㎡ | | |
| | 会議室 | 1室 | 72㎡ | | |
| | 小会議室 | 1室 | 36㎡ | | |
| | 保健室 | 1室 | 72㎡ | | |
| | 相談室 | 1室 | 18㎡ | | |
| | 職員更衣・休憩室 | 男女各1室 | 36㎡ | | |
| | 主事室 | 1室 | 36㎡ | | |
| | 資料室・倉庫・教材室 | 適宜 | 合計180㎡ | | |
| | 備蓄倉庫 | 1室 | 72㎡ | | |
| | PTA室・地域連携室 | 1室 | 36㎡ | | |
| | 給食受入室 | 1室 | 108㎡ | | |
| | 配膳室 | 各階1室 | 36㎡ | | |
| | 共用部 | 昇降口 | 1室 | 216㎡ | |
| | | 職員玄関・来客玄関・地域開放玄関 | 適宜 | 適宜 | |
| | | 待機スペース | 適宜 | 適宜 | |
| トイレ（児童用、職員来客用） | | 適宜 | 適宜 | | |
| その他廊下・階段・EV等 | | 適宜 | 適宜 | | |
| 屋内運動場 | アリーナ | 1室 | 832㎡ | ○ | |
| | ステージ | 1室 | 120㎡ | ○ | |
| | 器具庫 | 適宜 | 合計55㎡ | ○ | |
| | 放送室 | 1室 | 7㎡ | | |
| | 控室 | 1室 | 12㎡ | | |
| | 会議室 | 1室 | 64㎡ | ○ | |
| | トイレ | 適宜 | 適宜 | ○ | |
| | 更衣室 | 男女各1室 | 16㎡ | ○ | |
| | 玄関 | 1室 | 36㎡ | ○ | |
| 屋外付帯 | 屋外倉庫 | 1室 | 170㎡ | | |
| | 屋外トイレ | 適宜 | 適宜 | ○ | |
| | ゴミ置き場 | 1室 | 適宜 | | |
| 合計面積約11,000㎡ | | | | | |

4. 基本計画案

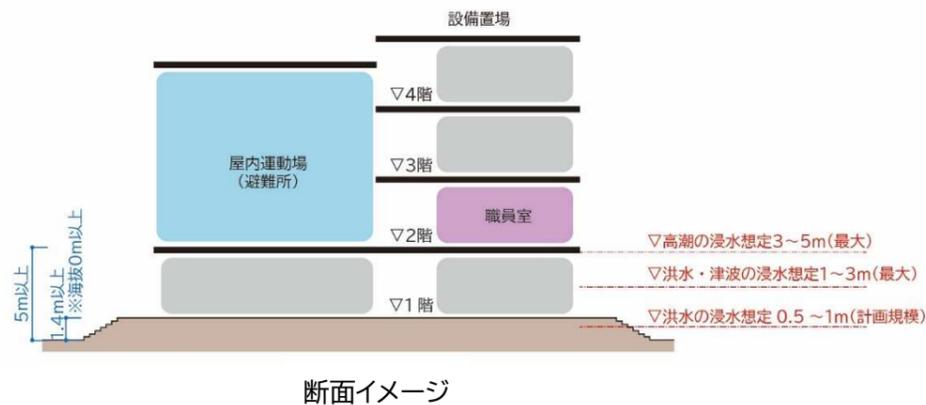
■配置計画



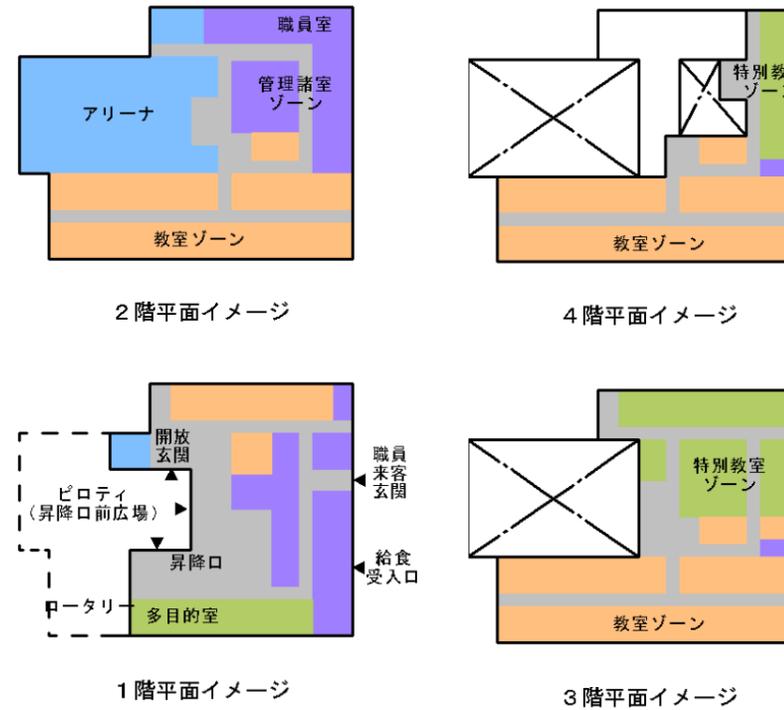
- ・ 校舎は敷地南側に配置し、仮設校舎が不要な建替計画とします。
- ・ 保護者の送迎や来客の車両、バスは南側道路からアクセスできるようにします。また、災害時は敷地南側から北側に通抜けられる計画とし、混雑せずスムーズに引き渡しができる計画とします。
- ・ 給食搬入車両は保護者の送迎動線と分離して計画します。
- ・ グラウンドは出来るだけ整形に確保し、授業や休み時間、運動会等の行事に使いやすい広さを確保します。
- ・ 登下校時の敷地出入口は現状同様3方向に確保します。
- ・ 歩車分離を徹底し、児童の安全に配慮した動線計画とします。

■断面計画

- ・ 1階床レベルは海拔0mライン（地盤面から+1.4mを想定）とします。
- ・ 職員室、重要設備、避難所となる体育館は最大規模の浸水を考慮し2階以上（地盤面から+5.0m以上）に配置します。



■平面計画



- ・ 普通教室は多目的スペースや少人数教室・更衣室、トイレ・手洗いなどとまとめて配置し、多様な学習環境と良好な生活環境を形成します。
- ・ 同教科の特別教室は隣接して配置します。また、教科横断的な学習が可能ないように特別教室はまとまりのある配置とします。
- ・ 地域開放するエリアは明確に区分します。また、開放時の施設管理の手間が少なくなるよう配慮します。
- ・ 管理諸室は関連する諸室を隣接して配置し連携が取れるよう配慮します。また、職員室から校庭への視認性を確保します。

■各室計画

○普通教室・多目的スペース

- ・ 児童のランドセルや実習用の道具、体操着などの個々人の荷物が収納できる十分な収納スペースを確保します。
- ・ 近傍に学年ごとに少人数教室、更衣室を設けます。

○特別支援学級、特別支援教室

- ・ 様々な特性の児童に対応できるよう、移動間仕切壁などでクラス数や部屋の広さを柔軟に変更できる計画とします。

○図書室

- ・ 日常的に異学年の交流ができる場となるように、各学年から利用しやすい配置及び居心地がよく魅力的な空間とします。

○多目的室

- ・ 放課後や長期休暇時の開放利用（児童館的な役割）を想定した計画とします。

○職員室

- ・ グラウンドが見渡せる位置に配置します。

○屋内運動場

- ・ アリーナは運動に必要な備品を収納する器具庫を隣接して設けます。
- ・ 地域開放を想定し、屋内運動場の開放エリアのみで単独利用できる会議室や更衣室・トイレを設けます。

■今後のスケジュール

